

## 報告

## ヨコハマ・ヒューマン&amp;テクノランド 2013

地引 美羽

## 1. ヨッテクとの出会い

私には重度身体障害のある娘(9歳)がいます。1歳の頃から横浜市総合リハビリテーションセンター(横リハ)に通っており、理学療法士や作業療法士による訓練や、リハエンジニアによるバギー・座位保持装置の相談、建築士からは新築時の相談まで、幅広く「横リハ」に関わっています。そんな医療や福祉、工学まで多岐にわたる専門スタッフがいる横リハが主催するイベントがヨコハマ・ヒューマン&テクノランド(愛称:ヨッテク)です。なんと今年で12回目の開催!好奇心旺盛な私も親子はヨッテク2006から参加しています。

## 2. ヨッテク2013の概要

「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2013」(愛称:ヨッテク)の開催日時は2013年7月26日(金)、27日(土)、各日10:00~17:00。場所はパシフィコ横浜展示ホールDです。今回のテーマは「移動」。参加者は2日間で約1万5千人でした。

## 3. テーマは「移動」

私の家族は外出や旅行が大好きです。自家用車で移動することはもちろん、タクシーや電車、バス、飛行機にも乗っているいろいろな場所に行きます。

今回のヨッテクでは、テーマが「移動」であるため、福祉車両が13台、カーシートが8種類も展示されており、その多さに驚きました。また理学療法士からカーシートの選び方講座があったりと大変興味深かったです。一見するとどれも同じに見える福祉車両やカーシートですが、個々の身体の特徴や介助のしやすさ、ライフスタイルなどにあわせて選ぶことができることを知り、有益な情報を得ることができまし

た。ここまで品揃えが充実している展示会は他にないのではないのでしょうか。

また、さらに印象的なことは、ノンステップバスの展示でした。本物の市営バスが会場に来ていたのです。制服を着て運転席で写真撮影ができたり、関連する情報もたくさん得ることができました。

その他、飛行機の座席シートの展示も印象的でした。飛行機は狭い空間に長時間座ることになるので、座位固定が大きな課題となっていた娘は、これまでは自分の車いすのヘッドレストと座面を使って座っていました。今回ヨッテクで体験した結果、チャイルドシートと固定用補助ベルトが用意されており、これらを上手く組み合わせることで、課題解決ができそうだと思います(図1)。

その他、バリアフリー旅行や旅先介助サービスの利用情報、各種電動車椅子の試乗体験(図2)などもあり、ハードおよびソフトも幅広く情報が集まっており、内容の濃いイベントだと感じました。



図1 飛行機の座席体験



図2 電動車いす体験

## 4. おわりに

毎年ヨッテクに参加すると大きな収穫が得られます。今回は「移動」がテーマであり、娘の成長とともに行動範囲や生活範囲を広げるためには、福祉機器やさまざまなサービスを活用することが有効だということを知り、将来への見通しをもつことができました。私たち親子にとってヨッテクは、夏の定例行事になりそうです。

横浜市在住